

令和7年度の活動について

令和7年度の活動方針

理事長 大倉 弘美



NPO法人八王子生涯学習コーディネーター会は今年度も教育委員会と協働して、人材を育成する事業、学びの場と成果発表の場をつくる事業を推進します。実施方法が変更される場合にも柔軟に対応し、当会の役割を果たすことができるよう尽力します。このほか、独自の講座開催にも力を入れ、市民の皆さんの生涯学習活動を支援していきます。

令和7年度通常総会報告

事務局長 山中 騒

4月26日(土)八王子市生涯学習センター(クリエイトホール)において、令和7年度の総会を開催しました。

総会に先立ち、来賓として出席された八王子市教育委員会学習支援課の松井課長から市における生涯学習の位置づけなどについてのお話をいただきました。



総会議事は、第1号議案として「令和6年度事業報告および収支決算報告」があり、理事長、各担当理事から報告がなされました。特に昨年度は本会の創立20周年記念講演が開催され、また生涯学習実践ハンドブックの改訂が行われています。これら事業に伴う決算報告があり、以上すべての報告について全員異議無く了承されました。

第2号議案は「令和7年度事業計画案および予算案」であり、本年度も、人材育成事業、自主事業などの定例の事業について継続実施するとともに、事業推進会議での会員間コミュニケーションの活性化が目標として取り上げられました。これについては会員から種々意見交換があり、最終的に予算案と共に全員一致で承認されました。

議事終了後、有馬顧問より挨拶があり、総会を終了しました。

令和7年度 主要事業の紹介

自主事業

昨年度は「八王子和歌講座」、「オペラまるわかり講座」など3講座を実施しました。八王子市は、いわゆる「生涯学習」に位置づけられる一般市民向け公開講座については、「いちょう塾」をはじめとして数多く開催されている環境にあります。その中で、市民に提供する講座として本会ならではの特徴ある差別化された講座を企画運営して行くところに本会の存在意義の一つがあると考えています。本年度は、昨年に勝る充実した自主講座の開催を期すこととし、会員の方々の持つ広範な人的ネットワークを活用して「心豊かな市民生活の実現及び地域社会の課題解決に寄与することとします。

行政との協働事業 生涯学習フェスティバル

10月25日(土)に開催される第21回生涯学習フェスティバルに向けて、共催団体として全体会・検討会に出席し、運営に協力します。特に今回からステージ発表に最大30団体が出演する予定となり、これまで以上にステージ発表が円滑に進むよう、当会スタッフが楽屋管理や誘導を行います。

行政との協働事業 出張体験講座

市内の小学生を対象に講座を行うこの事業では放課後子ども教室運営団体と講師との間をコーディネートし、多くの児童に体験の場を提供しています。

今年度も15講座を実施します。年間スケジュールが決まり、早くも7月14日に将棋の講座、7月16日に吹矢の講座をそれぞれ行うことになりました。

地域支援事業

東京都の無形民俗文化財に指定されたメカイ作り。当会は教育委員会が開催する講座の運営に協力します。

今年度は12月7日と
令和8年2月に実施
される予定です。今年
も多くの受講申込が
寄せられることでしょう。



メカイ

人材育成事業 生涯学習コーディネーター養成講座

八王子市教育委員会と生涯学習コーディネーター養成講座を共催し、講師やファシリテーターとして協力するほか、講座当日の運営を支援します。今年度の養成講座は6月7日に終了しました。詳細は特集ページをご覧ください。

スタッフの面々



八王子市生涯学習プランの紹介

当会の活動の指針でもある「八王子市生涯学習プラン」。令和7年3月に「つながり、学びあうまち 八王子」を基本理念とする新たなプランが策定されました。「誰もが学べる環境の整備」と「社会を創る学びの推進」という2つの基本施策に基づいて、八王子市の生涯学習施策が進められることになります。

生涯学習プラン(令和7~16年度)の本編は市のホームページからダウンロードすることができます。

八王子市生涯学習プラン策定に関わって

私は、今後10年間にわたる生涯学習の施策の方向性と展開を示す「八王子市生涯学習プラン」の策定に審議会委員として関わってきました。令和5年度の調査によると、生涯学習をしている市民の割合は約70%と高い水準に到達したのですが、生涯学習活動の成果を地域活動に活かしている市民の割合は、ここ数年6~7%と低水準が続いている。八王子市の生涯学習のあり方として、「個人の学びをいかに社会課題解決に役立てるか」というフェーズに入って来ているにも関わらず、実態がなかなか伴わないのでなぜでしょうか。

30年前の日本では、生涯学習といえば余暇を使って趣味やレクリエーション活動を行うことだと認識されていました。更新される生涯学習の定義と市民の意識との間にズレが生じているのではないかでしょうか。実際、生涯学習フェスティバルも、やはり「習い事の成果発表」の色合いが濃いです。多くの市民には、いまだに生涯学習とは「余暇を使ったお稽古事」だとすれば、それらと「社会課題の解決」とは親和性がないように感じられても仕方ないでしょう。また、自分が打ち込んでいる事を何らかの形で地域活動に繋げてはと周りに話したところ、「今さら責任を負う重いことはしたくない」という反応が返ってきました。このように学びの社会的還元を喜びではなく負担と感じる人も多く、この意識の溝をどう埋めるのか、それこそ私たちコ会の会員の役割ではと感じています。

本編の表紙



副理事長 小林 万里子



令和7年度生涯学習コーディネーター養成講座



▲5/17

「八王子市の生涯学習施策」

令和7年度生涯学習コーディネーター養成講座が5月17日・5月24日・6月7日の3回にわたって開催されました。今年度の受講生は29人。20代から80代まで、年齢層は幅広く、市外居住の方や中国出身の方も参加され、多彩な顔ぶれとなりました。また、どのグループでも話が弾む様子が見られ、グループごとに話し合う場面ではチームワークの良さが発揮されていました。

今回の養成講座にはコーディネーター会からスタッフとして3日間で延べ26人が参加し、運営に協力しました。受講生のうち8人の方を新入会員としてお迎えすることができ、会員一同とても喜んでいます。当会の活動がさらに広がることでしょう。



▲5/17 「生涯学習概説」講義



▲5/17 「生涯学習概説」
グループワーク



▲5/17 「ファシリテーション
について」



▲5/24 「生涯学習に活かすことができるデジタルツール」



▲5/24 「広報の仕方」



▲5/24 「講座企画運営」



▲6/7
コーディネーター会
から「人生満足度と
ボランティア活動」



▲6/7 「全体総括」
グループワーク



▲6/7 受講生の「企画講座」発表

コーディネーターズ オピニオン

ホトトギスの忍び音

22期生 上杉 雅央

23区内に住んでいると身近な鳥といえば雀と鳩と鳥ぐらいで、それ以外の鳥に出会うことはありませんでした。ところが、八王子に転居してきてからは、日常的に多くの鳥の鳴き声を耳にするようになりました。最近、ホトトギスの鳴き声を聞くことがありました。昨年までは深夜2時頃に鳴き声を聞きましたが、今年は休日の午前のことでした。旧暦の5月1日(新暦で今年は5月27日)より前になくホトトギスの鳴き声を忍び音というそうです。旧暦の5月以降は忍び音ではなく、日中でも鳴き声を聞くことができるようになるみたいです。平安時代の歌人である和泉式部が詠んだ和歌に「薰る香に よそふるよりは ホトトギス 聞かばや同じ 声やしたると」というものがあります。今年12月に自主事業として行う予定の八王子和歌文学講座では、この和泉式部の和歌の新しい解釈が紹介されます。どのような解釈が紹介されるのか楽しみにしてお待ちください。



忙しさと充実感とゆとりとは

22期生 萩澤 茂

昨年の4月に私は仕事を辞めボランティア活動を掛け持ちしていました。社会に貢献することは、私にとって大切な意味をもっていましたし、ボケ防止にもなると思い、積極的に参加していました。



しかし、今年4月から新たに仕事を始めることになり、さらに住宅地域内の評議員の会長に選ばれてしまいました。このように忙しい日々が続く中で、私は心の中にパニック状態が広がっています。

ボランティア活動や仕事、地域の役割を果たす事は、確かに充実感を与えてくれますが、同時に多くの責任も

編集後記

例年、4月から6月にかけて通常総会、生涯学習コーディネーター養成講座、出張体験講座の調整作業と多忙な日々が続きます。この時期を過ぎる頃にはもう1年が終わったかのような安堵感をおぼえてしまい、気を引き締め直しています。

さて、令和7年度生涯学習コーディネーター養成講座が終わり、8人の方が23期生として当会に入会しました。さまざまな得意分野を持つ23期生との出会いによって新たな化学反応が生まれることを期待しています。

伴います。特に評議員の会長としての役割は、地域の人々とのコミュニケーションや問題解決に追われることが多く、ストレスを感じています。

社会に貢献することは素晴らしいですが、時には自分自身の時間や心の余裕を持つことも大切です。忙しきの中で、自分を見失わないように、少しづつでも心に余裕を持てる時間を作りたいと思っています。これから的生活の中でバランスを取りながら、充実した日々を送る事ができる様努力していきたいものです。

市民活動を通して自らの生涯学習をコーディネート

22期生 平敷 安洋

定年とほぼ同時に妻を見送った後、喪失感もあって引きこもり状態になってしまい、「これではいかん!」と市の広報などを見ながらボランティア活動をいくつかしているうちに、子どもとかかわることが楽しいと感じ、本会の出張体験講座などの活動を中心に外に出るようになりました。しかし、結婚生活はエンジニアとして仕事人間だった身で、子育ては専業主婦の妻のワンオペだったのです。

とにかく、自分の感じたことを信じ、保育園の補助員も行いながら、絵本読み聞かせ講座を受けたことから、4月から絵本読み聞かせを行う会を立ち上げることになり、さらに会の会長に推されて引き受けることになり、会のスタート準備やら忙しい毎日を過ごしております。活動を通じて様々な方との交流や保育での学びもあり、改めて人生経験を積んでいる感覚があります。第2の人生においても一つの道を目指し、目の前にあるチャンスに飛びついていけば生涯学習の道は開けると感じています。



★事業推進会議のご案内

- ・日時 毎月 第1土曜日 14時～16時
- ・会場 クリエイトホール 11F第7学習室

★会報は年2回(7月・11月)発行

- ★二次元コードからホームページ
モバイル版を閲覧できます。



NPO 法人八王子生涯学習コーディネーター会
会報第55号 発行責任者:大倉弘美
cokai802@yahoo.co.jp
TEL 080-6631-3034